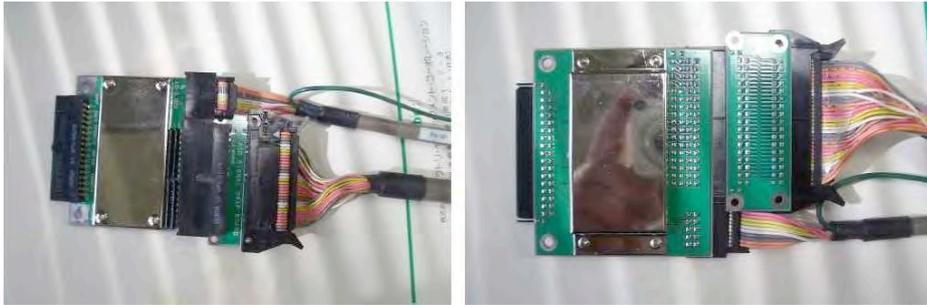


* PDC

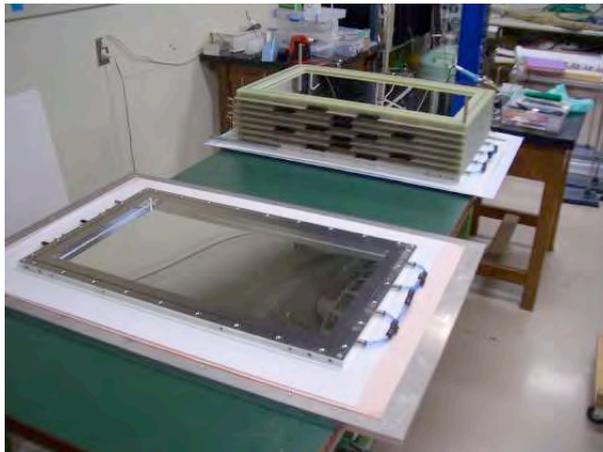
- * PDC 本体フレーム 2 台の組み上げ@加工工場 (秋田)
 - * 10/6 (木) - 10/7 (金)
 - * 工場に行き、一緒に作業をした。
 - * 意外と小さく感じる。もう少し大きくしておけば良かったかと悔やまれるが、設計時は 3mm ピッチのカソードフィードスルー穴による本体の歪みの方が心配で現在の大きさにした。
- * ASD 出力信号変換基板
 - * 試作品が 1 台でき、試験を行った。



- * 問題無いので、80 台製作する

* FDC 1

- * 以前、G10 基板 30 枚を組み立てる時に位置のばらつきが多かった ($\pm 0.3\text{mm}$ 程度) ので、分解して組み立て直した。
- * 大きな定盤が無いので、アルミ板で代用：良い大きな定盤が大学に欲しい。
- * 今回は $\phi 10.5$ の基準穴 4 個に対し、 $\phi 10.3\text{SUS}$ 磨き棒をノックピンとして使用。固定ボルト 30 本を締め付けた後でもノックピンは抜けるので、まあ問題無いと思われる。G10 側面の段差も (定量的ではないが) 以前と比較してかなり改善した。G10 の加工精度も充分良いと思われるので、次回の為に $\phi 10.4$ のノックピンを準備しようと考えている。
- * ガス窓一部修理。バブラーから連続的にリターンがあるようになったので、以前と比較して改善した。



- * 読み出しの半分 (ASD14 台) を接続してとったデータから 6 本 dead channel がある事

がわかったので、この機会に本体、変換基板、内部接続ケーブル、真空フィードスルー、ASDのどこが悪いかわかっているから外箱に組み込む予定。

* FDC1 外箱の真空膜の試験は、差圧計が届き次第行う予定。

* 上流架台

* SBT, ICB, BDC1, BDC2, GV の部分

* 接続ダクト/フランジは結局アルミ製+溶接で製作する事にし、小細工はやめる

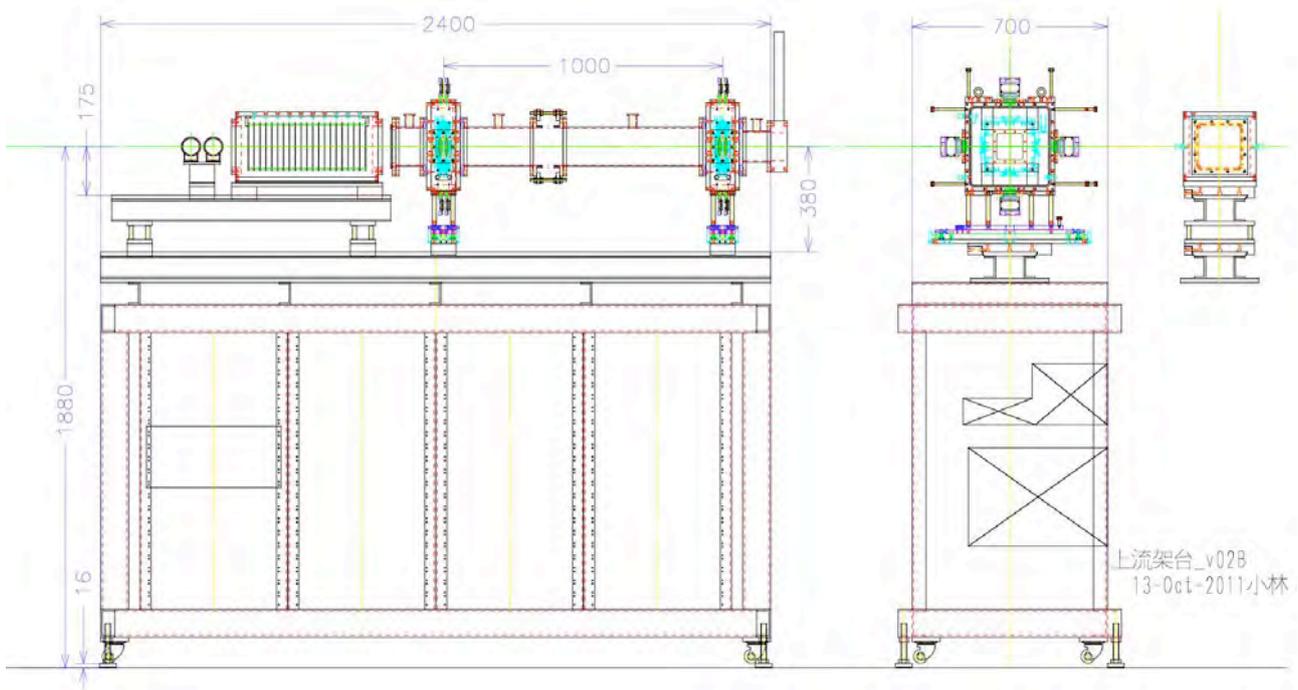
* GV、ダクト、フランジなど発注済

* まだ位置調整機構に関して満足の行く物ではないが、原案を作成。

* リニアガイドは固定方式、追加性などの問題があり、結局私的に使ってたガイドを同じ寸法で使用する事にした。 今月中に発注できるように準備中

* ビーム一床=1880mm, ジャッキアップ量=16mm で設計

* 意見、問題の箇所があれば早めをお願いします。



* BDC, FDC1 の重イオンに対する動作特性 (高橋)

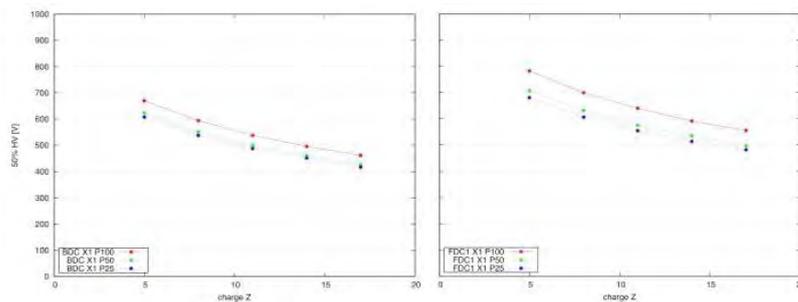
* Jul2011 の HIMAC データの解析。Commissioning 用に電荷の小さい領域

* 効率が50%になる高電圧値

* BDC (left), FDC1(right)

* P= 25(blue), 50(green), 100(red) torr

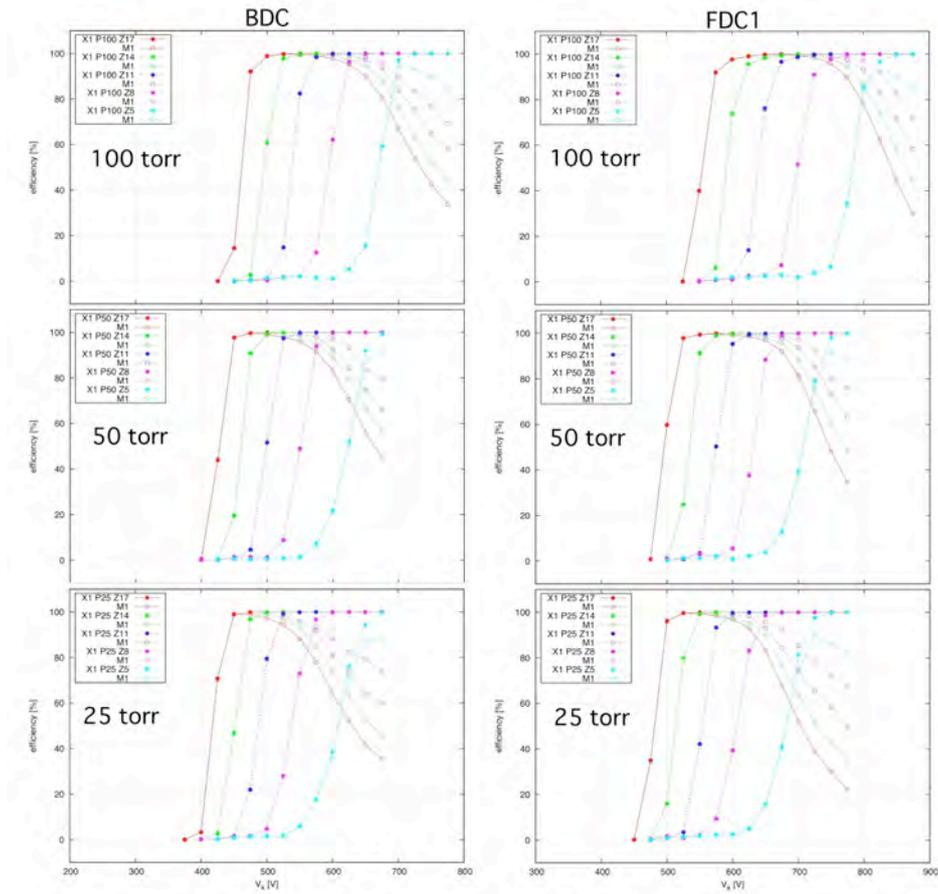
* Z= 5, 8, 11, 14, 17 @250MeV/A



*

* 検出効率

* $z = 5$ (light blue), 8 (purple), 11 (blue), 14 (green), 17 (red)



*

* BDC は放電が怖くて十分高電圧をかけなかったが、 $z=5$ が 25 torr でプラトーに入りかけというのは心強い。あとは位置分解能の study が必要。

* Proposal

* Soft dipole mode in Ca/Ni Region :

* まだかなりひどい状態ですが、今回出すかどうかを含めて意見を下さい。

* メンバーは？

* 締め切りは 10 / 20 (木) のはず